

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (釜谷正博)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業 種目	急傾斜地崩 壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 1.2 億円
		急傾斜地崩壊対策事 業 <鎌倉地区>	佐用郡 三日月町 鎌倉		

所在地			着工予定年度	完成予定年度
佐用郡 三日月町 鎌倉			H13年度	H14年度

事業目的		事業内容
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の生命を保護する。		急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 擁壁工 L = 160m H = 4m

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地崩壊危険箇所である。 保全人家5戸、及び公民館(避難施設)、及び町道(鎌倉線)(避難路)がある。 斜面には小規模な崩壊が発生するなど、土砂災害の危険性は高い。 当該地区の豊かな緑は、山村部の美しい景観を保全するものであり保全効果が高い。 近年、樹木の立ち枯れ及び、斜面の表土崩壊多数発生しており、小規模な降雨でも、さらに土砂災害が発生する危険性がある。 過疎対策法、山村振興法の対象地域であり、事業による生活改善効果は高い。
快適性・ゆとり	
その他	
(2)有効性・効率性 有効性	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象に、避難施設の公民館、避難路の町道があり事業効果が高い。 事業実施に向け、法指定の同意を得ている。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 待受擁壁工は、化粧型枠を採用し、より自然に近い雰囲気にする。また、ツタ等による緑化を検討する。 斜面脚部を固定することにより、農村部の良好な緑の斜面を保全できる。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象に避難施設の公民館及び避難路及び人家5戸あり事業効果は高い。 表土崩壊が発生するなど斜面は危険な状態であり、早急な防災対策が必要である。 この度、地元の合意形成が図られ事業執行環境が整ったので、事業に着手する。
評価の結果	着手妥当 左の理由 審査の結果、事業着手が妥当と認められた。